



題字：桂川中学校美術部

八木庭 文夏 さん

教育情報

桂川っ子

School

【問合先】学校教育課 教務係 ☎65・1149

■一年間を振り返って

桂川中学校 校長 安藤 能之

気が付けば今年度もあとわずか。おかげさまで、地域のみなさまの支援もあって、桂川中学校での今年度の教育活動も無事に終えることができました。ありがとうございます。

さて、生徒たちには学期ごとに「出会い」「なかま」「共に」の言葉にあって話をしてきました。

○一学期「出会い」

まれにしか出会う確率の無かった者たちが偶然出会った。だからこそこれはとても意味のある事、といっ
て新しい学級が始まり、一緒に体育会もつくりあげました。部活動にも励みました。

○二学期「なかま」

1人ではできないこともみんなとならできた。みんなと一緒に作り上げることでなかまができた。そうであってほしい、といって職場体験などのふるさと学習をすすめました。合唱コンクールでは歌声を響きわたらせました。

○三学期「共に」

一学期に出会い、二学期になかまとして過ごしてきた者たちと共に歩

むこと。ともに登る山を見定め、それに向かつて挑戦していこう、といっ
て修学旅行の計画を作りました。3年生は進路の実現に向け力を
尽くしました。

それに加えて、この一年間の歩みの中に、地域の皆様からのたくさんのご協力があつたことは事実です。ゲストティーチャーとしてかわつてくださった多くの方々、本当にありがとうございます。一年間の学校教育へのご協力を、心より感謝申し上げます。今後ともよろしく願います。

■幼稚園教育の充実をめざして

桂川幼稚園 園長 城石 俊弘

3学期は進級や卒園・入学に向けた準備の期間でもあります。年長児にとっては、小学校生活が目の前に迫っていますが、年長クラスの後半に大切になってくるのが、小学校の子どもたちに憧れの気持ちをもち、小学校生活に期待を寄せたりするようになる機会を設けること

です。文部科学省が定めている「幼稚園教育要領」には、「幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続のため、幼稚園の幼児と小学校の児童との交流の機会を積極的に設けるようにするものとする。」という規定があります。

本園では、桂川東小学校の1年生児童とさつま芋の栽培活動をしたり、桂川小学校1年生の生活科「秋の宝物ランド」に招待してもらったりしました。桂川小学校での5回の給食体験も、本年度は5年生児童の教室で行い、交流を進めることができました。他にも、小学生の運動会の練習や体育の授業も見学しました。また、小学校の先生に鉛筆の持ち方や運筆の指導をしてもらい、その後の園での指導に生かしています。

園内では、整理・整頓の仕方、箸の持ち方、食べ方、あいさつや返事、話の聞き方の指導に力を入れるとともに、ワークを活用して、知識を広げたり、数の概念を培ったりする指導を行うなど、小学校生活のスムーズなスタートを目指した活動の充実を図っています。小学生との交流に加えて、とれたて村や桂川東アンビシャス広場の方など地域の方々と交流活動も園児にとって楽しい時間となっています。

また、本年度は様々な教育活動をコロナ禍前に戻すことに力を入れしました。「音楽発表会」、「運動会」、「生活発表会」などの園行事も、プログラムを工夫してできる限り以前の内容にもどし、また参観者数の制限も無くして、多くの保護者や地域の方

に子どもたちの姿を見てもらい、拍手と声援をいただきました。このことは、子どもたちの励みになり、友達と協力しながら、主体的に様々な活動に取り組み、最後までやり遂げようとする態度を育むことにつながっています。

本年度、「元気で友だちと協力して遊べる子どもの育成」を教育目標として、教育実践を積み重ねました。1年を振り返って、子どもの成長、教育目標の達成のためには、学校や地域、保護者など多くの方と連携・協力し、たくさんの支援をいただくことが大切であることを改めて強く感じています。今後も、多くの方と連携して開かれた園づくりを進め、本園教育の充実をめざしたいと考えています。



▲東小学校でたくさん芋を掘りました



▲5年生の教室で楽しく給食を食べました